

文化 Culture

広陵町の文化芸術の現状と課題

Art

芸術

広陵町企画部企画政策課



広陵町

Koryo Town

はじめに

本日本話すること

- 1 広陵町の人口について
- 2 広陵町の公共施設について
- 3 広陵町の文化芸術について

広陵町の人口

1 はじめに

広陵町発足 昭和31(1956)年

15,598人

昭和35(1960)年国勢調査

35,064人

令和2(2020)年1月31日

人口が約2.25倍になったものの、40年後は…

30,860人

令和42(2060)年予想人口

広陵町の人口

2 人口の推移（10年前・現在・40年後）

	平成22年 (2010年)	令和2年 (2020年)	令和42年 (2060年)
年少人口 (0～14歳) 総人口に占める割合	5,439人 16.0%	5,137人 14.7%	4,794人 15.5%
生産年齢人口 (15～64歳) 総人口に占める割合	22,382人 65.7%	20,971人 59.8%	16,935人 54.9%
老年人口 (65歳以上) 総人口に占める割合	6,227人 18.3%	8,956人 25.5%	9,132人 29.6%
総人口	34,038人	35,064人	30,860人

年少人口・生産年齢人口の**減少**、老年人口の**増加** 人口増の**鈍化した後減少**に

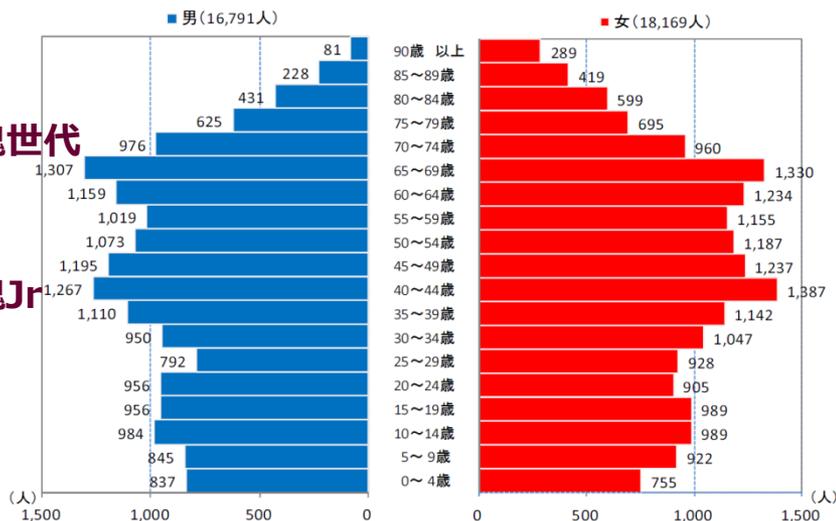
広陵町の人口

3 図で見ると

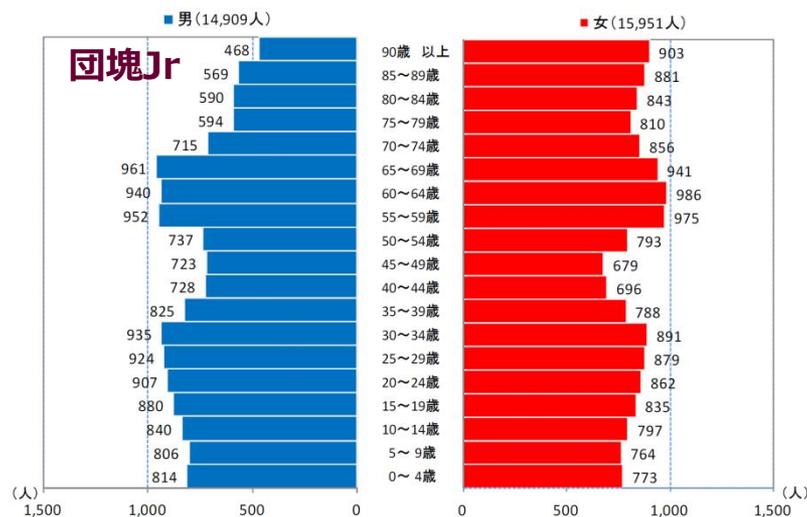
平成27(2015)年
34,960人

令和42(2060)年(予測)
30,860人

■人口ピラミッド (2015年)



■人口ピラミッド (2060年)



- ・ 団塊世代
65歳~69歳
- ・ 団塊ジュニア世代
40歳~44歳

- ・ 団塊世代
110歳~115歳
- ・ 団塊ジュニア世代
85歳~89歳

広陵町の人口

4 人口推移から見てくるもの

年少人口

(0～14歳)

低位で推移後

減少に

次世代の担い手不足

生産年齢人口

(15～64歳)

現役世代の

大幅な減少

税収の大幅減少

担い手不足 (地域・文化)

老年人口

(65歳以上)

高齢者の増加

扶助費 (福祉的経費) の

増大による財政圧迫

総人口

減少に向かう

地域活力の減少

空き家問題

広陵町の公共施設

1 はじめに

広陵町の公共施設数

96施設

(文化・社会教育系施設 41施設)

延床面積

118,063.76m²

(文化・社会教育系施設 15,029.8m²)

(広陵町 公共施設再配置 (再編) 計画対象施設)

広陵町の公共施設

2 主な施設の整備状況

昭和40年代～
昭和50年代半ば
(1965年～1978年)

- ・西小学校 (昭和43 (1968) 年)
- ・役場庁舎 (昭和46 (1971) 年)
- ・中央公民館 (昭和48 (1973) 年)
- ・古寺町営住宅 (昭和49 (1974) 年)

昭和50年代半ば～
平成2年
(1979年～1990年)

- ・東体育館 (昭和54 (1979) 年)
- ・中央体育館、西体育館、北小学校 (昭和55 (1980) 年)
- ・北体育館 (昭和56 (1981) 年)
- ・真美ヶ丘第一小学校 (昭和59 (1984) 年)
- ・真美ヶ丘中学校 (昭和61 (1986) 年)
- ・真美ヶ丘第二小学校 (昭和62 (1987) 年)
- ・広陵中学校 (平成2 (1990) 年)

平成3年以降
(1991年～)

- ・真美ヶ丘体育館 (平成4 (1992) 年)
- ・はしお元気村、図書館 (平成9 (1997) 年)
- ・総合保健福祉会館 (平成13 (2001) 年)
- ・東小学校 (平成14 (2002) 年)
- ・クリーンセンター (平成19 (2007) 年)

人口増加に合わせた施設整備

ポスト高度経済成長期の昭和40年代から昭和50年代 (1965～1984) に整備された施設が多い。

広陵町の公共施設

3 公共施設の課題

昭和40年代から昭和50年代(1965~1984)
にかけて多く整備された施設の**老朽化対策**

少子高齢化が進み、扶助費の増加、税収の減少
財政状況がより厳しく

人口減少により、**施設がオーバースペックに**

施設用途に対する、**社会ニーズの変化**

広陵町の公共施設

4 公共施設の取組

広陵町公共施設再配置（再編）計画

1 計画的な予防保全による
公共施設の長寿命化と、
安全、効率的な維持管理

- (1) 計画的な予防保全の実施
- (2) 施設機能の維持・向上
- (3) 安全かつ効率的な維持管理の実施

2 社会情勢や住民ニーズを踏
まえた公共施設再配置（再
編）の推進

- (1) サービスの適正化
- (2) 施設総量の縮減
- (3) 資産の有効利用

3 管理運営の効率化によるコ
スト削減と民間活力の導入
による施設運営の最適化

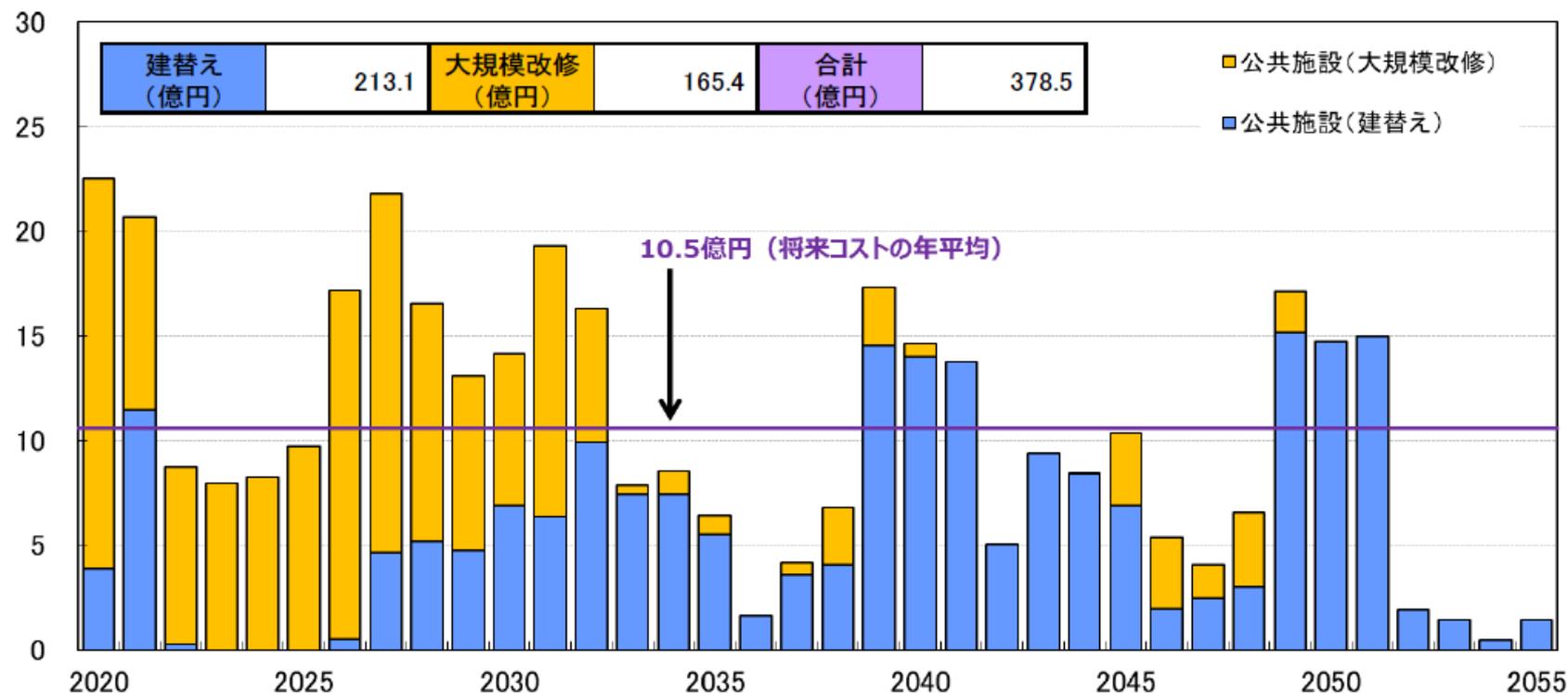
- (1) 民間活力導入の検討
- (2) 維持管理費用等の縮減
- (3) 受益者負担の適正化

広陵町の公共施設

4 公共施設の取組

コストシミュレーション（現状維持）

(億円)



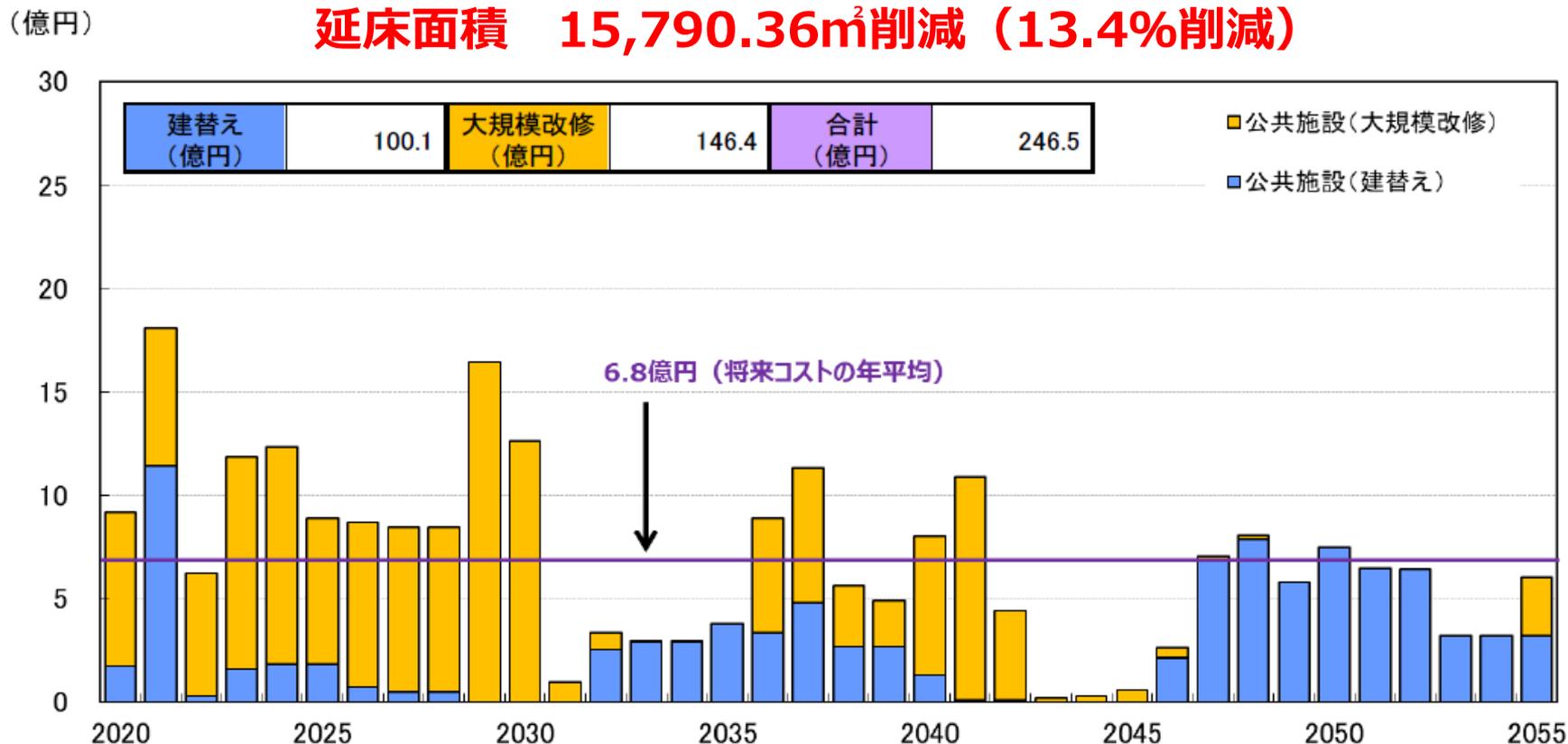
合計 378.5 億円 年平均コスト 10.5 億円

広陵町の公共施設

4 公共施設の取組

コストシミュレーション（再編計画実施）

延床面積 15,790.36㎡削減（13.4%削減）



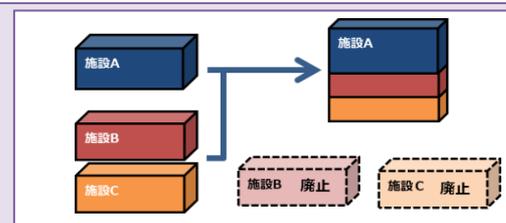
132億円削減
合計246.5億円
3.7億円削減
年平均コスト6.8億円

広陵町の公共施設

5 新しい公共施設のスタイル

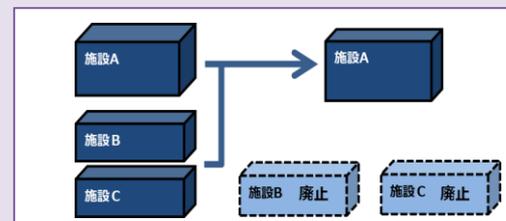
1 複合化

既存の異なる種類の施設において、一方の施設にある余剰スペースを用途変更し、もう一方の施設の機能を統合



2 集約化

既存の同種または類似する施設を一方の施設に機能集約し、もう一方の施設を廃止



3 民間活力の導入

運営管理上、民間のノウハウを活用することが適している施設は、民間活力導入（譲渡を含む。）の推進

4 利用者負担の見直し

公共施設に関する費用は、利用者だけでなく利用していない人も負担していることから、受益者負担の観点からの見直しの実施

広陵町の文化芸術

1 はじめに

公民館育成クラブの数

61団体

公民館育成クラブ所属人数(重複所属を含む。)

765人

広陵町の文化芸術

2 公民館活動

1 公民館活動

地域における学習需要に応える社会教育施設として、人づくり・地域づくりを推進

【公民館講座】

・ 大人向け	20 講座
・ 子ども向け	30 講座
・ 女性教室	1 講座
・ 実年学級	1 講座
計	52 講座

※ 受講者の高齢化・固定化に対応する講座等の検討

【公民館育成クラブ】

多方面にわたる文化芸術活動

・ 団体数	61 団体
・ 活動人数	765 人

【広陵町文化協会】

・ 部門数	5 部門 (絵画部、写真部、書道部、盆栽部、俳画部)
・ 会員数	75 人
・ 総合展	5 回 (3 年に 1 回)

広陵町の文化芸術

2 公民館活動

2 公民館利用

公民館主催事業・公民館育成クラブの実施のほか、公共的な利用の貸館事業を実施

【貸館利用】

(令和元(2019)年度) ※新型コロナウイルス感染症の影響あり

- ・ 利用件数 2,903件
- ・ 利用者(延べ人数) 35,118人

(平成30(2018)年度)

- ・ 利用件数 3,019件
- ・ 利用者(延べ人数) 38,164人

(平成30(2018)年度・令和元(2019)年度決算資料)

広陵町の文化芸術

2 公民館活動

3 文化芸術の発表の場

【文化祭】

文化創造意識の高揚と、文化芸術活動の振興のため、文化の日を中心に開催（作品展示・公民館活動発表等）

（令和元（2019）年度）

・出展者402人 ・出品数635点 ・来場者1,975人

（平成30（2018）年度）

・出展者421人 ・出品数677点 ・来場者1,824人

※ 文化展覧会：58回、活動発表会：38回、参加体験型教室・模擬店：5回

（平成30（2018）年度・令和元（2019）年度決算資料）

広陵町の文化芸術

3 地域での文化芸術（公民館から出てみると）

1 歴史文化

【史跡・有形・無形文化財】

（古墳）

巢山古墳、牧野古墳、新木山古墳、新山古墳、三吉石塚古墳 等

※ 巢山古墳周辺整備事業、出土品等3Dデータ化、古文化会による古墳草刈作業、文化財ガイドによる史跡ガイド、牧野古墳石室公開（春・秋）

（寺社仏閣）

百済寺、教行寺、讃岐神社、櫛玉比女命神社 等

（仏像等）

与楽寺十一面観音立像、大福寺十一面観音立像 等

（祭り）

天神社綱打ち(1月上旬)、大垣内立山祭(8/24)、戸閉て祭(11月初土日) 等

※ 戸閉て祭の地車、大垣内立山祭の「作り物」が、奈良県イベント（大立山祭）に出展・参加実績あり

広陵町の文化芸術

3 地域での文化芸術（公民館から出てみると）

2 町内の文化芸術活動

【文化芸術活動】

- ・ 公共施設での作品展示
図書館展示ホール、役場町民ホール 等での作品展示
- ・ 商業施設での作品展示
エコール・マミ等での作品展示
- ・ 地域での文化芸術教室
茶道、華道、絵画、音楽 等の教室での活動
- ・ 和太鼓
舞太鼓あすか組（プロ）、広陵金明太鼓
- ・ 落語
広陵寄席、アマチュア落語広福亭 その他多くの活動が行われている。

広陵町の文化芸術

3 地域での文化芸術（公民館から出てみると）

2 町内の文化芸術活動

【中学校の文化系部活動】

（広陵中学校）

吹奏楽部、コーラス部、美術部

（真美ヶ丘中学校）

英語部、合唱部、美術部、
パソコン部

【図書館での文化芸術活動】

- ・朗読ボランティア
- ・お話しの会ボランティア
- ・音楽ボランティア

【大和広陵高校の文化系部活動】

人権研究部、ESS部（英会話部）、
パソコン部、美術部、茶華道部、
文芸部、写真部、書道部、吹奏楽部

【畿央大学の文化系部活動】

茶道部、軽音学部、教職クラブ、
アカペラ部、書道部、染物部、
アコースティック部、災害復興ボラ
ンティア部、その他に吹奏楽サーク
等のサークル活動が複数

（※文化系部活動は、社会課題解決型の部活動を含む。）

数字から見る文化芸術

1 文化芸術を全ての人に（課題提起）

公民館の文化芸術活動を行う人数

【文化祭出展人数】※ 公民館活動発表会が別にあり

出展者
402人 ▶▶▶ 大勢の
出展 ▶▶▶ 町人口の
1.15%
出展

出展者は多いのか少ないのか？若い人の出展は？

【育成クラブの会員数】

会員
765人 ▶▶▶ 大勢の
会員 ▶▶▶ 町人口の
2.18%
会員

会員数は多いのか少ないのか？若い会員は？

数字から見る文化芸術

1 文化芸術を全ての人に（課題提起）

【文化祭出展数等の推移】

【平成29(2017)年度】

- ・ 出展者数
448人
- ・ 出品数
955点
- ・ 来場者
2,001人

【平成30(2018)年度】

- ・ 出展者数
421人
- ・ 出品数
677点
- ・ 来場者
1,975人

【令和元(2019)年度】

- ・ 出展者数
402人
- ・ 出品数
635点
- ・ 来場者
1,824人

【育成クラブの推移】

【平成29(2017)年度】

- ・ 団体数
62団体
- ・ 会員数
800人

【平成30(2018)年度】

- ・ 団体数
59団体
- ・ 会員数
773人

【令和元(2019)年度】

- ・ 団体数
61団体
- ・ 会員数
765人

出展数と会員数減少傾向にあり新たな出展者や会員の確保が必要

広陵町の文化芸術（将来に向けて）

2 文化芸術の今後（課題提起）

多くの史跡・有形・無形文化財

先人が守り伝えてきたもの

次の世代に守り伝えていくもの

【課題】

- ・ いかに守るか（劣化、損傷、消滅の問題）
- ・ いかに伝えるか（担い手不足、無関心の問題）

広陵町の文化芸術（将来に向けて）

2 文化芸術の今後（課題提起）

現在行っている文化芸術活動

作り上げてきたもの・伝えられたもの

次の世代に拡げること、裾野を拡げること

【課題】

- ・ 活動の維持や拡大
- ・ 次の担い手の確保

→学校の部活動経験者や新しく習う人がいるけれど…

広陵町の文化芸術（将来に向けて）

3 文化芸術のひろがりを（課題提起）

【広陵町の文化芸術の輪】

公民館活動団体

多様な芸術文化活動団体との
つながり・連携

- ・文化芸術のひろがり
- ・新たな担い手や人材
- ・新たな活動の場や分野

つながり

つながり

公民館以外での
活動団体

つながり

文化系部活動
(学校)

広陵町の文化芸術（将来に向けて）

3 文化芸術を外に向けて（課題提起）

【文化芸術の場は町全体】

公民館活動から見てみると

新たな価値
創造

学校で指導

訪問演奏会

地域行事出演

学校で体験会

地域での展示

福祉施設での
活動

アウトリーチ活動

地域課題の解決
に向けての取組

イベント参加

公民館
活動

- ・ 普段公民館を利用していない人（支え手）への還元
- ・ 新たな会員獲得
- ・ 活動の認知、PR
- ・ 新しいつながり
- ・ 地域の活性化

広陵町の文化芸術（将来に向けて）

4 新しい文化芸術活動の場は（課題提起）

【新しい文化芸術の場】

どのような施設の**役割**が求められるのか

多様な年代の
利用

コミュニティ
活性化

持続可能性

社会包摂への
寄与

維持管理
コスト低減

学習機会の
提供

交流の場

多機能性

地域課題の解決
に向けての取組

連携・協力

安全・安心

数十年後を見越
した規模や用途

文化芸術の
発信拠点

将来に向けて求められる社会的役割（ソフト面）を十分考慮する必要あり

広陵町の文化芸術（将来に向けて）

将来に向けて

広陵町の文化芸術の担い手は、

このまちに暮らす一人ひとりです。

広陵町の文化芸術のあり方や

文化芸術の場やその施設について、

これから、一緒に考えましょう。

文化 Culture

ご清聴ありがとうございました。

Art 芸術